

記入にあたって特に注意する事項 (1/2)

×印欄、★印欄及び※印欄は記入しないでください。

【×印欄は基金、★印欄は農業委員会及び※印欄はJAが記入します。】

提出年月日は、この届出をJAに提出した年月日を記入してください。

(1)欄は、農業者年金被保険者証に記載されている「記号番号」を記入してください。

(2)欄は、届出を行う被保険者の氏名を記入してください。

(3)欄は、年月日が1桁の場合には前に「0」を補い記入してください。

例：昭和59年10月1日生まれ

昭和	②	年	月	日
平成	3	59	10	01

(5)欄は、現在適用を受けている(政策支援要件不該当になる日まで受けていた)政策支援区分1～5について、該当する項目に○印を付してください。

(6)欄は、(8)欄で選択された政策支援要件不該当年月日を記入してください。

例1：農業所得または給与等の額が、令和2年2～3月に行う青色申告時(令和元年所得)に900万
を超えていた場合

不該当年月日→令和2年4月1日

例2：認定農業者の認定期間が平成27年12月10日～令和2年12月9日までの場合であって、
令和2年12月10日以降同月中に再認定を受けなかった場合

不該当年月日→令和2年12月10日

注：不該当事由「69」(政策支援を受けることのできる期間を満了した)に該当する場合は、該当月
1日が不該当日となります。

【注意事項】

政策支援加入要件不該当により通常加入や他の政策支援区分へ変更する場合、(6)欄「不該当となった事由が生じた年月日」の属する月分まで遡及した差額追納保険料が発生することがあります。当該保険料の一括納付を希望されない場合は、別途「農業者年金保険料請求猶予申出書(様式第113号)」を併せて提出してください。この場合、請求猶予された保険料について「農業者年金保険料請求猶予申出撤回申出書(様式第114号)」を提出することで追納することができますが、時効が進行しますので、ご注意ください。

(7)欄は、政策支援要件不該当となった月の翌年(あるいは翌々年)以降の保険料納付方法について、前納(年払い)希望の有無を該当する項目のどちらか一つに○印を付してください。

なお、資格の決定時期によっては、翌々年分からの保険料前納となります。

また、翌年60歳を迎えられる方等は前納納付を選択することはできません。未記入の場合は、希望しないものとして取り扱います。

(8)欄は、政策支援要件不該当となった事由のうち、該当する項目のいずれか一つに○印を付してください

(11)～(13)欄は、(8)欄の不該当事由が「65」に該当したときに記入してください。

届出書の提出年月日現在、青色申告の廃業届及び開業届を提出していなかった場合は未記入で結構です。

以下は、政策支援要件不該当となった月以降の保険料を選択する項目です。通常加入を申し込む場合と、政策支援加入を申し込む場合があります。

【通常加入を申し込む場合】

(9)欄は、希望する保険料月額を、20～67までの整数で記入してください。なお、35歳未満で政策支援相当者※ではない者は、10～19までの整数を記入することができます。その場合は、チェックシートにより自己点検し、(10)欄に○を付してください。

【政策支援加入を申し込む場合】

11)欄は、政策支援区分1～5のうち、届出者が該当かつ希望される政策支援区分のどれかひとつを○で囲んでください。

※政策支援相当者

① 認定農業者かつ青色申告者

② 認定就農者かつ青色申告者

③ ①又は②の者と家族経営協定を締結し経営に参画し、かつ常時従事している配偶者又は直系卑属

④ 認定農業者又は青色申告者

⑤ ①又は②以外の農業を営む者の農業に常時従事している後継者として指定された直系卑属

記入にあたって特に注意する事項 (2/2)

各政策支援区分に該当する者であることの申出書及び指定書の記入について

区分1の場合

- 1については、青色申告の状態について該当の□に○を付すとともに、(11)欄下部の(注)を参考に対象となる「年」を記入してください。
- 2については、認定農業者の認定開始日及び認定を行った市町村名を記入してください。

区分2の場合

- 1については、青色申告の状態について該当の□に○を付すとともに、(11)欄下部の(注)を参考に対象となる「年」を記入してください。
- 2については、認定就農者の農業経営開始日及び認定を行った市町村名を記入してください。

区分3の場合

- 1については、申出者の配偶者又は尊属（経営主）の氏名を記入するとともに、申出者の年間農業従事日数（要件：150日以上）を記入してください。
- 2については、経営主の青色申告の状態について該当の□に○を付すとともに、経営主の認定農業者の認定開始日及び認定を行った市町村名又は経営主の認定就農者の農業経営開始日及び認定を行った市町村名を記入してください。
- 3については、(11)欄下部の(注)を参考に、対象となる「年」を記入してください。

区分4の場合

- 1については、認定農業者である場合には認定農業者の認定開始日及び認定を行った市町村名、また、青色申告者（青色申告承認申請提出者を含む）である場合には青色申告の状態について該当の□に○を付すとともに、(11)欄下部の(注)を参考に、対象となる「年」を記入してください。

区分5の場合

- 1については、申出者の尊属（経営主）の氏名を記入するとともに、申出者の年間農業従事日数（要件：150日以上）を記入してください。
- 2については、申出者の尊属（経営主）の状況について該当の□に○を付してください。
- 3については、(11)欄下部の(注)を参考に、対象となる「年」を記入してください。
- 5については、申出者の尊属（経営主）に氏名の記入をしてもらってください。

同意欄は、区分1、区分2及び区分4へ変更する方が自ら記入してください。

同意されない場合は、農業所得が確認できる書類（マイナンバーを黒塗り等により伏せた確定申告書の写し等）を添付してください。